

岡山理科大（岡山市北区理大町）などを運営する学校法人加計学園（同所）と津山市は2日、地域社会の発展と学術振興を目的に包括連携協定を結んだ。

協定は、地域経済の発展▽教育、文化、スポーツのけ入れてもらい、児童生徒の学力アップを狙う。2016年4月に設ける予定の教育学部の学生らを同市内の小中学校に受

・淡水魚と一緒に飼育できる同大の「好適環境水」の活用を計画し、同大は2016年4月に設ける予定の教育学部の学生らを同市内の小中学校に受け入れてもらい、児童生徒の学力アップを狙う。

同大で調印式があり、加計孝太郎理事長は「知識を出し合い、互いが活性化する道を歩みたい」、宮地昭範市長は「大学の専門知識を生かして課題解決につなげる」と述べた。

加計学園と自治体の協定締結は、真庭、玉野市などに続き8件目。津山市が学校法人や大学などと締結するのは5件目。

（岸研一）



加計学園と津山市

地域発展、学術振興へ

連携協定結ぶ